

特別調査「平成19年の見通し」

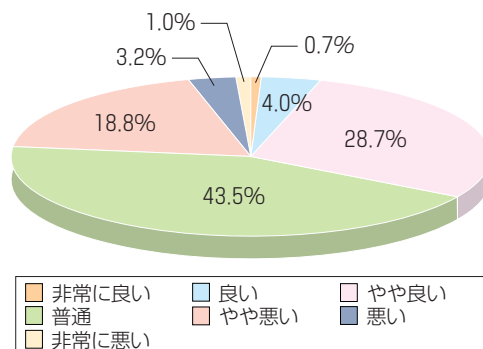
(特別調査については、全地域調査依頼先600先からの有効回答のみを集計した調査結果となっています。)

問1

貴社では、平成19年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 非常に良い | 5. やや悪い |
| 2. 良い | 6. 悪い |
| 3. やや良い | 7. 非常に悪い |
| 4. 普通 | |

平成19年の日本の景気の見通しについては、「普通が43.5%」と最も多い回答ですが「非常に良いが0.7%」「良いが4.0%」「やや良いが28.7%」が全体の約4割弱を占めており、ここ数年の景気の状態から脱し、小幅ながら今年は景気回復に向かうとの見通しとなっております。

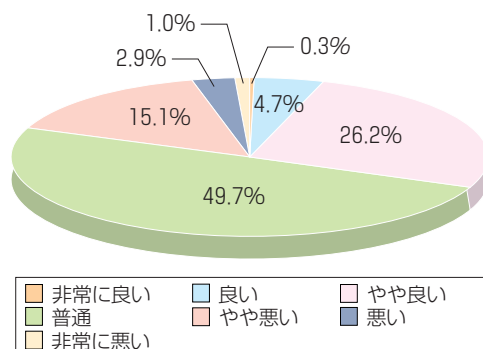


問2

貴社では、平成19年の貴社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 非常に良い | 5. やや悪い |
| 2. 良い | 6. 悪い |
| 3. やや良い | 7. 非常に悪い |
| 4. 普通 | |

平成19年の貴社の業況の見通しについては、「普通が49.7%」とほぼ半数を占めており、日本の景気は明るい兆しが見えるものの、中小・零細企業の景気については変わらずとの見通しとなっております。

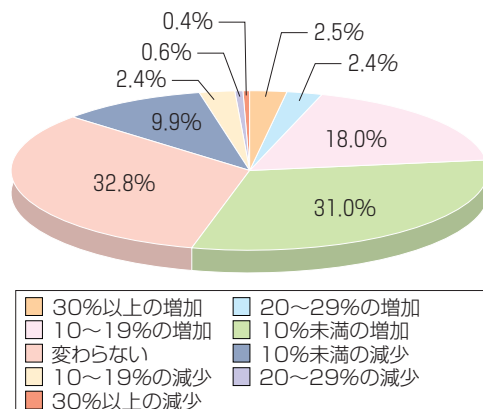


問3

平成19年において貴社の売上額の伸び率は、平成18年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 30%以上の増加 | 6. 10%未満の減少 |
| 2. 20~29%の増加 | 7. 10~19%の減少 |
| 3. 10~19%の増加 | 8. 20~29%の減少 |
| 4. 10%未満の増加 | 9. 30%以上の減少 |
| 5. 変わらない | |

平成19年の貴社の売上額の伸び率については、「変わらないが32.8%」と最も多い回答で、次いで「10%未満の増加が31.0%」「10%~19%の増加が18.0%」と増加すると回答した企業が全体の約5割と小幅ながら改善する結果となっております。

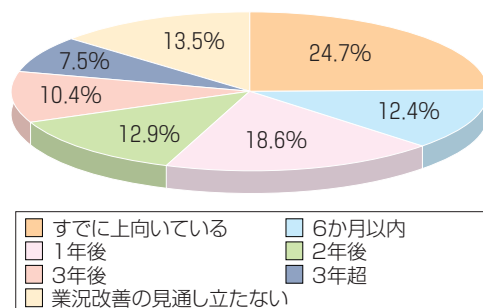


問4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

- 1. すでに上向いている
- 2. 6か月以内
- 3. 1年後
- 4. 2年後
- 5. 3年後
- 6. 3年超
- 7. 業況改善の見通し立たない

自社の業況の上向く転換点については、「すでに上向いているが24.7%」と最も多い回答で、ついで「1年後が18.6%」となります。ここから1年以内と回答した企業の割合は55.7%と半数を占めており、業況回復に向かっていく結果となっております。



問5

本年6月の改正道路交通法の施行に伴い、貴社の日常業務にどのような影響がありましたか。次の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

- 1. 道路の通行が楽になった
- 2. 駐車場ビジネスなど、収益機会が拡大した
- 3. 来店客数(訪問者)が増えた
- 4. 来店客数(訪問者)が減った
- 5. 駐停車する場所を探す手間が増えた
- 6. 駐車料金の負担が増えた
- 7. 社用車に複数の乗務員が必要になった
- 8. 反則金の負担が増えた
- 9. 特に影響はない
- 0. その他()

改正道路交通法の施行が貴社の日常業務の影響については、「特に影響はないが42.5%」と最も多い回答ですが、「駐停車する場所を探す手間が増えたが21.1%」・「駐車料金の負担が増えたが17.1%」があり、全体の4割の企業が負担と感ずる結果となりました。

